

～欣浄寺法語メール～2019年8月～

「命名」

調べ物をしていたら、長野県にかけて「読書（よみかき）」という名の村があったと記されていました。なんとも印象的な名前だと感心しました。欣浄寺のある地名は三重県員弁郡東員町南大社です。フリガナ無しで正確に読める人は地元の人たちだけだろうとなあと思っていたところ、名古屋の地下鉄の駅名も難解過ぎるとのニュース。「相生山」「新瑞橋」「御器所」「上社」「一社」・・・小生しばらく名古屋で生活していましたので、「あいおいやま」「あらたまばし」「ごきそ」「かみやしろ」「いっしや」とすぐ読むことができますが、ご縁の少ない方にとっては？？？。地名は難解なのです。

最近若い人たちに「東員町南大社」はかって「大長村南大社」であったことが通じなくなってきました。南大社の「大」とお隣の長深（今やイオンモール東員の開業で賑わっています）の「長」をとって、昭和29年の大合併まで「大長（おおなが）村」でした。難解で読みにくい地名にもその意味と歴史があるのであります。

寺の住職として法名を命名するという大切な役目があります。生前ご本山等で帰敬式（おかみそり）を受式する機会が無かった方に、ご門主に代わり法名を授与させていただくのです。生前のお名前である俗名やご先祖の法名を考慮し、そして歩んでこられたご一生を偲び法名を命名します。「名前は一番短い物語です。ひとりひとりの名前には、その人の

全生涯が詰まっている。」との言葉を念頭におきながら・・・。

さて長野県「読書村」は明治7年、与川村（よがわむら）三留野村（みどのむら）柿其村（かきぞれむら）の三村それぞれ頭文字をとって命名されたそうです。これも歴史です。

・・・欣浄寺行事のご案内・・・

秋季永代経 9月5日～7日午後2時 講師 加藤学師（5.6日）加藤正人師（7日）桑名市桑部善徳寺